

## 吉野宿ふじやの観覧日の変更について

「吉野宿ふじや」は、明治30年頃に建築された旅籠の名残をとどめる養蚕農家の住居が旧藤野町に寄贈され、平成3年に藤野地域の民具等を収蔵・展示する「郷土資料館ふじや」として開設されたものです。平成19年の合併時に改称し、現在に至っています。

今回、これまでの利用実績などから活用方針の見直しを行い、原則として月曜日以外を観覧日としていたものを、平成29年4月1日から原則として土曜日、日曜日及び祝日を観覧日としますのでお知らせします。

### 1 経過等

施設の来館者数が一日当たり10名程度であること、管理運営に要する費用の約7割が受付に係る人件費であることから、費用対効果の観点から活用方法の見直しを図ることとしました。

### 2 新たな活用方法

平成29年4月1日から原則として土曜日、日曜日及び祝日を観覧日としますが、10名以上の団体から、あらかじめ予約をいただければ、火曜日から金曜日までの休館日についても観覧を可能とします。

なお、より効果的に本施設の魅力を向上させていくため、平成25年度から3年間実施した協働事業提案制度事業の検証結果を踏まえ、平成29年度から吉野宿ふじやを拠点とした新たな活性化事業の実施を検討しています。

問合せ先

相模原市立博物館

電話 042-750-8030

## 参考 吉野宿ふじやの概要

### 1 施設の概要

(1) 設置場所 相模原市緑区吉野 2 1 4 番地

(2) 施設の構造

明治 30 年築 建築面積 392.51 m<sup>2</sup> 木造 3 階建

(3) 沿革

吉野宿とは江戸時代初期の五街道のひとつ「甲州道中」の 10 番目の宿場である。

「吉野宿ふじや」は、旅籠「藤屋」が明治 29 年の大火で焼失後、明治 30 年頃に建築された。

平成元年に当主から旧藤野町に建物が寄贈され、平成 3 年からは藤野地域の民具等を収蔵・展示する「郷土資料館ふじや」として利用されてきた。平成 19 年の合併を機に名称を「吉野宿ふじや」とし現在に至る。

文化財としては、平成 18 年に旧藤野町指定重要文化財に指定、平成 26 年に相模原市登録有形文化財に登録。



### 2 収蔵資料（平成 27 年度版年報より）

内 容	件 数	主な内容
考古資料	160 箱	吉野嵯峨遺跡出土の土器など
歴史資料	669 点	甲州道中に関する古文書など
民俗地理	1,470 点	養蚕・炭焼きに関する器具など
動物・昆虫	115 点	蝶の標本など
計	2,414	

### 3 利用状況等

観覧時間 午前 10 時から午後 4 時まで

休館日 月曜日（月曜日が休日の場合は翌日、休日の翌日、年末年始等）

利用状況

年 度	利用人数	開館日数	1 日平均	備 考
22 年度	1,874 人	304 日	6.2 人	
23 年度	1,847 人	308 日	6.0 人	
24 年度	1,094 人	183 日	6.0 人	
25 年度	2,132 人	228 日	9.4 人	吉野宿ふじや活性化事業開始
26 年度	3,202 人	307 日	10.4 人	同上 2 年目
27 年度	3,119 人	304 日	10.3 人	同上 3 年目

平成 24 年度は、24.11.1～25.3.31 まで工事による休館あり。

平成 25 年度は、25.4.1～7.1 まで工事による休館あり。